

解答

- 一 ① 視界 ② 輸送 ③ 拡張 ④ 待機 ⑤ 収容
⑥ 独占 ⑦ 斜（め） ⑧ 就任 ⑨ 平凡 ⑩ 真剣

二

問一 イ
問二 イ

問三 本物そっくりの作品は、感心させられても、感動させられることはあまりないから。

問四 ア

問五 前者は作者の意図しない細部の情報をふくみ、後者は作者の意図さえみたせばそれ以上の細部を必要としない。

問六 亜流

問七 ウ

問八 情報の圧倒的な優位性

三

問一 イ

問二 ウ

問三 エ

問四 イ

問五 担当の患者たちが、何かを感じて生きているわけではないのかもしれないという不安。

問六 マリコさんの世話をしている看護婦の方が、マリコさんが感動で流した涙に喜びや希望をもったということ。

問七 エ

解説

二

問三 続く文章で、蠟細工を例にあげて「感心させられても、感動させられることはまずありえない」と述べられています。

問五 次の段落で、「そっくり人形は、・・・作者の意図さえみたせば、それ以上の細部は必要としない」が、「写真のほうは、作者がかならずしも意図しなかった細部の情報までふくんでい」と述べられています。

三

問五 本文の最初のほうで、看護婦は「たとえ体のすべての機能が奪われ、意識がないように見えたとしても、こうして生きているってことは何かを感じてゐることじゃないか、って私は思うのよ。そう信じてるの。」と言っています。その考えに不安を感じながら、仕事にはげんでいるのだと考えられます。

問六 「婦長さんが駆け寄って、マリコさんの眼頭をひとさし指でなぞってから、彼女の小さな頭をだきしめた。

『ほらね、わかるのよ、感じるのよ』という描写から、婦長さんはマリコさんから感動をもらい、喜びと希望を抱いたことがわかります。